五色百人一首

August 21 , 2022

滋賀県立武道館

五色百人一首プレ全国大会

主催：一般社団法人五色百人一首協会　後援：一般社団法人全日本かるた協会・滋賀県教育委員会

全国15都府県124名が参加

令和4年（2022年）3月20日に開催を予定しておりました「五色百人一首プレ全国大会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、8月21日に大会を開催することといたしました。 本大会の開催には、大会を待ち望んでくれた子供たち・保護者の皆様、ならびに運営にお力添えくださった皆様の五色百人一首への熱意と励ましのお言葉が後押しとなりました。 皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。

一般社団法人五色百人一首協会

日本全国の頂点を目指して！

全国で五色百人一首に親しんできた子供たちが集い、白熱した試合が行われました。参加者は「トップリーグ」と「レギュラーリーグ」の２つのリーグの内１つを選んで参加。予選を勝ち抜き、各色ごとに８名で行う決勝トーナメントへとすすみます。青、桃、黄、緑、橙のチャンピオンを決める真剣勝負！参加する子ども達もさることながら、応援する保護者、審判やスタッフも緊張で目が離せません。勝って喜ぶ子、負けて悔し泣きする子、たくさんのドラマや名勝負がありました。

トップリーグ優勝者

青色優勝	奈良県	小６	田中 碧衣
桃色優勝	大阪府	中１	山口 雪月
黄色優勝	京都府	中１	井本 灯
緑色優勝	大阪府	中１	森田 麗
橙色優勝	兵庫県	小６	山口 紗良

レギュラーリーグ優勝者

青色優勝	兵庫県	小３	石井 愛海
桃色優勝	岐阜県	小４	虫鹿 里菜
黄色優勝	兵庫県	小４	名和 詩織
緑色優勝	兵庫県	小４	坪井 朱音
橙色優勝	愛知県	小５	上山 あおい

五色百人一首

August 21 , 2022
滋賀県立武道館

五色百人一首とは

日本の伝統文化を伝える教材五色百人一首は百人一首を20枚ずつ五色に色分けした教材です。このため１試合、約３分間で決着がつきます。子供たちは五色百人一首に熱中し、楽しみながら百人一首を覚えることができます。また試合を繰り返すうちにルールが身につきます。だから自然とクラスがまとまります。１日１回の五色百人一首をする中で、男女関係なく交流ができるため、どの子も仲良くなれるのです。

●TOSSオリジナル教材
https://www.tiotoss.jp
TEL:0120-00-6564
営業時間　9：30 - 17：30
土日祝休

●Amazonでも販売中！
※一般の文具店・おもちゃ店では取り扱いがございません。
※類似品にご注意ください。

百人一首舞～日本舞踊とコラボ～

いにしえの季節の歌・恋の歌・情景が詠まれた百人一首。この和歌に、日本の代表曲『さくらさくら』の曲にのせて、日本舞踊の振付けで踊るのが「百人一首舞」です。体験を希望した子供たちは、試合の空き時間に、舞踊家・和のSmile代表である勘孫奈(かんそな)さんから百人一首舞を教わり、貴重な伝統文化の体験を楽しみました。

真剣勝負の後に、友達を励ます仲間の姿も見られました。

開会式の様子

待ちに待って参加した中学生も表彰へ

セルフジャッジを見守る審判

五色百人一首

August 21 , 2022

滋賀県立武道館

大会応援メッセージ

一般社団法人全日本かるた協会会長

松川 英夫

五色百人一首プレ全国大会にご参加の皆さんへ

百人一首が大好きな仲間が集まれたことを嬉しく思います。試合中には楽しかった札、すぐに見つけた札、という印象に残る札があると思います。好きな札だけでなく、気になる札を増やしていってください。

私も、小学生と五色百人一首かるた大会を行っています。五色百人一首をきっかけに、競技かるたの魅力に目覚め、名人位やクイーン位を目指している人もいます。本大会への参加が、百人一首かるたとの素敵な出会いとなることを願っています。

競技かるた第六十八期名人位（三島せせらぎ会）

川瀬 将義

真剣勝負の中でもたくさんの札を取る楽しさに出会ってほしい

こんにちは。小倉百人一首競技かるた第六十八期名人の川瀬将義です。

この度は五色百人一首プレ全国大会の開催、誠におめでとうございます！

私は、競技かるたを四歳から始めました。札を早く取れるとうれしくて、どんどんのめり込んでいきました。きっとみなさんも、札を早く取れた時「やったあ！」と思うことでしょう。

もちろんかるたは真剣勝負ですが、今日は練習よりもたくさんの「やったあ！」に出会い、私と同じように、かるたにのめり込んでもらえたらうれしいです。

…そして、今日、あなたが大会に出場できることは「当たり前」ではないことを、忘れないでください。

ここまで送迎してくれたのは誰ですか？一緒に練習してくれたのは誰ですか？どうか周りの方々への感謝の気持ちを大切に正々堂々と戦ってください。

これまで、たくさん練習をしてきたことでしょう。みなさんが全力を出しきれるよう、心から応援しております。がんばってください!!

競技かるた第六十五・六十六期クイーン位（京都小倉かるた会）

山添 百合

試合ができることの感謝を忘れずに、全力を尽くして

はじめまして。競技かるた第六十五・六十六期クイーン位の山添百合と申します。

この度は五色百人一首プレ全国大会の開催、まことにおめでとうございます。

私も小学生の頃、地元の五色百人一首大会に出場したことがあります。五色すべての部での優勝を目指し、何度も出場したことがなつかしく思い出されます。

歴史ある日本文化を、現代でも身近に楽しめるというのは本当に素晴らしいことだと思います。

百人一首の試合は、決して一人ではできません。対戦相手がいて、読み手がいて、大会を開催してくださる方々がいて、自分を応援してくださる方々がいます。

そのありがたさ、感謝の気持ちを忘れずに、最後まで全力を尽くしていただければと思います。

皆さんのご健闘をお祈りいたします。

一般社団法人全日本かるた協会普及指導部長

鶴田 究

ご講評

今日は、講評ということなんですけれども、感想を三つだけお話いたします。

まず一つ目ですが、レベルがとても高いなと思いました。全日本かるた協会では、優秀な子は、初段、二段など、段を決めているのですけれども、すぐにでも初段をとれるという子がたくさんいました。とってもレベルが高いと思いました。

二つ目は、とても礼儀正しいということです。最初の挨拶、それから終わったときの挨拶、そして札を片付けるとき、いろんなときにきちんと礼儀正しくやっているなあと、さすがは伝統文化である百人一首を楽しんでいる皆さんだなあと感心しました。

そして三つ目は、五色百人一首は面白いなあと。わたしも、見たことはあるんですけれど、これだけ長く見たのは初めてで、とても面白かったです。スピード感がある。緊張感がある。そして、最後に、皆さんの笑顔がある。とっても面白いなあと思いました。わたしたち、競技かるたをやっていても、スピード感や緊張感を味わうことがありますけれども、皆さんも、やっぱり同じようなスピード感や緊張感を味わっているなあと思うと、うれしく思います。

最後に、これから皆さんは五色百人一首を頑張っていくんでしょうけれど、もし競技かるた、高校生、大学生、大人となって目指すときが来れば、今日のパンフレットにも名人・クイーンがあいさつ文の中にも書いていますけれども、小学校の時に五色百人一首をやっていた人がかるた協会でもクイーン、日本一のクイーンをやっています。

皆さんの中から、将来の名人位、クイーン位に目指す選手が現れることを期待して、感想といいますか、講評といいますか、挨拶を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。（閉会式にていただいた言葉を、文字起こししています。）